

和戸の昔と今をめぐる

旧須賀村の中心地であった和戸。歴代の将軍が通った日光御成道、埼玉県初のキリスト教会である『和戸教会』、秘仏十一面観音像が祀られる西方院など、今の姿から昔をしのぶことができます。



胡録社

2 備前堀川 (びぜんぼりがわ)

江戸時代の初めに、伊奈備前守忠次によって開削されたので備前堀川と呼ばれています。備前堀川橋梁は煉瓦造りであり、和戸駅と備前堀川橋と備前堀川がとても絵になります。伊奈備前守忠次は徳川家康の関東入府に同行し、足立郡小室(現在の伊奈町)に居を構え関東郡代として関東平野の開発に活躍しました。



3 東武鉄道煉瓦台鉄橋 (れんがだいてっきょう)

東武鉄道の工事が始まった際に、河川や用水に掛けられた鉄道橋の橋台や橋脚に煉瓦が多く使われました。宮代町にある5か所の鉄橋は当時の煉瓦台の面影を残しており、使われた煉瓦は深谷市の日本煉瓦製造製といわれています。東武伊勢崎線は、明治32年(1899)8月に久喜まで開業し、その年に東武動物公園駅(旧杉戸駅)、和戸駅も設置されました。ちなみに東京駅の煉瓦も日本煉瓦製造製といわれています。



伏越跡 (ふせこしあと) (サイフォン)

備前堀川と姥ヶ谷(うばがや) 落の交差点跡があります。姥ヶ谷落が備前堀川の下を通っていました。現在姥ヶ谷落は歩道などになっています。



総距離:約5km 所要時間:約3時間30分

- スタート ① 和戸駅 明治32年開業
- ② 備前堀川 伊奈備前守忠次の名前から
- ③ 東武鉄道煉瓦台鉄橋 明治を今に
- ④ 旧須賀村役場(和戸公民館) 須賀村3代目の村役場
- ⑤ 和戸教会 埼玉県最古の教会
- ⑥ 御成街道 将軍日光に参代する街道
- ⑦ 西方院 十一面観音像
- ⑧ 宇宮神社 和戸村の鎮守
- ⑨ ぐるる宮代(総合運動公園) 泳ぐ、投げる、走る
- ⑩ 胡録社 野辺の社(やしろ)
- ⑪ 和戸橋河岸場跡 河川交通の要所
- ゴール ⑫ 和戸駅 大正8年現在地に移転

【注意事項】 散策をするときは、交通量の多い道路や河川沿いなど、交通安全には十分ご注意ください。また、ゴミはお持ち帰りいただくようお願いします。自然路や史跡など、コース周辺の見どころには私有地が多く含まれますので、所有者とのトラブルにならないようご注意ください。

memo

【参考・引用文献】 本資料をまとめるにあたり宮代町発行の下記の資料を参考にしています。
○宮代町史通史編 ○社寺総合調査 ○宮代の道/平成15年度 宮代町郷土資料館企画展
○みやしろ歩け歩け!/平成21年度 宮代町郷土資料館企画展 ○埼玉の神社 ○みやしろ風土記
○その他宮代町関連資料

とは…みやしろ市民ガイドクラブのシンボルマークです。「歴史」と「自然」を合わせた合成語です。

宮代町役場ホームページ  <http://www.town.miyashiro.saitama.jp/>

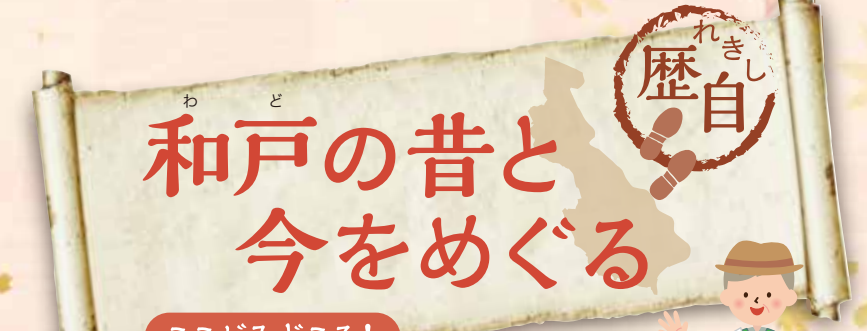
新しい村ホームページ  <https://www.atarasiimura.com/>

発行: 宮代町産業観光課・みやしろ市民ガイドクラブ
協力: 宮代町郷土資料館
〒345-8504 南埼玉郡宮代町笠原1-4-1
お問い合わせ: tel.0480-34-1111

植物油インキを
使用しています。 

201603/5,000

ぶらり 宮代 vol.3



- ここがみどころ!
- 東武鉄道煉瓦台鉄橋は和戸地区に3ヶ所残る
 - 和戸橋河岸から粕壁宿上喜蔵河岸へ
 - 日光御成道は将軍の通った道
 - 和戸周辺に多数伝わる円空仏

